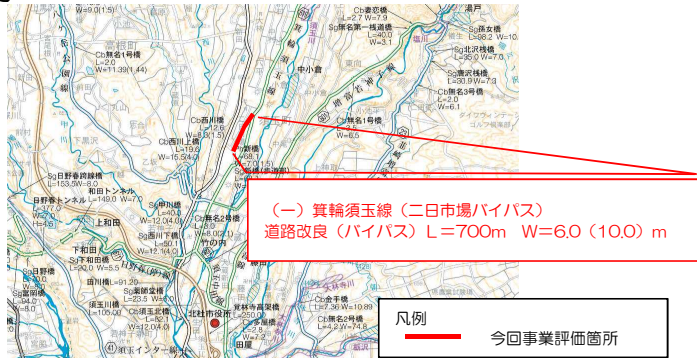
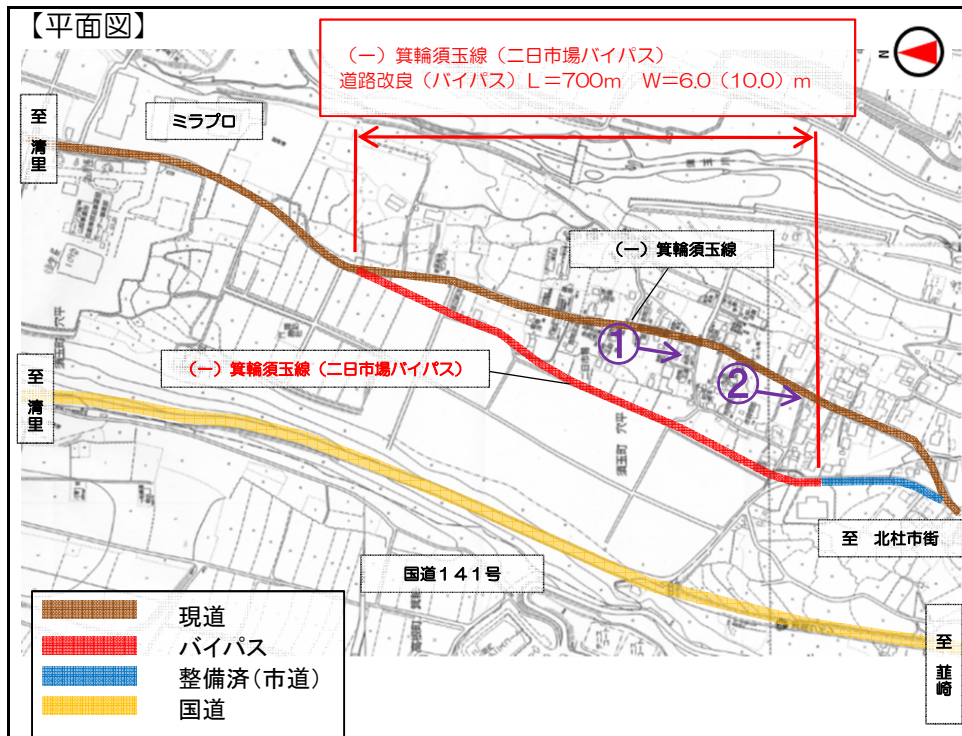


1. 事業説明シート

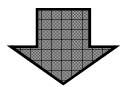
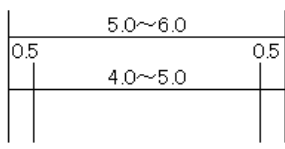
<p>事業名</p>	<p>道路事業[緊急道路整備改築事業（国補）]</p>	<p>事業箇所</p>	<p>北杜市須玉町穴平</p>	<p>地区名</p> <p>(一) 箕輪須玉線 (二) 市場バイパス</p>	<p>事業主体</p>	<p>山梨県</p>																																						
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 一般県道箕輪須玉線は、国道141号高根駐在所前交差点を起点とし、北杜市須玉町若神子に至る約6.1kmの生活道路である。北杜市須玉町穴平地区付近は、幅員が狭小で道路線形が悪く大型車同士のすれ違いも困難な状況であり、北杜市立須玉小学校へ通う児童にも危険な状態である。このことから、交通の円滑化や通行の安全確保を図るため、道路整備を進める必要がある。</p> <p>②整備目標・効果</p> <p>□主要目標 ○市町村中心地・大規模拠点施設へのアクセス向上 道路改良率 47.5% (H30道路現況表) < 64.0%未済※ 混雑時走行速度 25.8km/h (H27センサス) < 30km/h以下※ ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保 歩行者・自転車交通量 78人台/12h (R1実測) < 93人台/12h以上※ 自動車交通量 1,913台/12h (H27センサス) < 3,428台/12h (平日) 以上※ 通学路の指定 あり 現況の歩道幅員 なし < 1.4m以下※ ※評価基準値</p> <p>□副次効果</p>			<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性（行政が行うべき事業か） 一般通行の用に供する県道であり、極めて公共性が高い。 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>②事業執行主体の妥当性（県が行うべきか） 県管理道路であり道路法第15条により県が行うべき事業である。 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <table border="1" data-bbox="1108 454 1982 670"> <tr> <td>総事業費</td> <td>390 百万円</td> <td>工期</td> <td>R1 ~ R7</td> <td>基準年</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>355 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">433 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>311 百万円</td> <td>走行時間短縮</td> <td colspan="2">378 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>44 百万円</td> <td>走行費用減少</td> <td colspan="2">27 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少</td> <td colspan="2">4 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">24 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">1.2</td> </tr> </table> <p>※その他は、救急救命率向上便益 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている。</p> <p>④事業実施・規模の妥当性 人家が連担している未改良および歩道未整備区間を迂回する歩道設置を伴うバイパス計画であり事業規模は妥当といえる。 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>⑤整備手法の有効性 隣接する農耕地を利用することにより人家が連担している区間を迂回するバイパス計画とした。 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 現地盤と同等の高さにすることにより大規模な地形改変を伴わず、環境負荷は最小限である。 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p>⑦事業計画の熟度 地元から要望あり。事業箇所については「北杜市通学路交通安全プログラム」に位置付けられており、大規模企業への通勤車両や大型車両からの危険回避のため早期のバイパス整備を求められている。 <input type="radio"/> 妥当 <input type="radio"/> 妥当でない</p> <p style="text-align: center;">総合評価 [貢献度ランク：a]</p>				総事業費	390 百万円	工期	R1 ~ R7	基準年	R1	経済効率性	費用	355 百万円	便益	433 百万円		建設費	311 百万円	走行時間短縮	378 百万円		維持管理費	44 百万円	走行費用減少	27 百万円				交通事故減少	4 百万円				その他※	24 百万円		B/C			1.2		
総事業費	390 百万円	工期	R1 ~ R7	基準年	R1																																							
経済効率性	費用	355 百万円	便益	433 百万円																																								
	建設費	311 百万円	走行時間短縮	378 百万円																																								
	維持管理費	44 百万円	走行費用減少	27 百万円																																								
			交通事故減少	4 百万円																																								
			その他※	24 百万円																																								
B/C			1.2																																									
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 道路改良 L=700m W=6.0 (10.0) m (片側歩道)</p> <p>②着手年度 令和元年度</p> <p>③完成見込年度 令和7年度</p> <p>④総事業費 約390百万円 (国費227百万円 (5.83/10) 県費163百万円 (4.17/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1" data-bbox="224 1284 1086 1348"> <tr> <td>令和元年度～3年度</td> <td>詳細設計、用地測量、用地補償</td> <td>120 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和4年度～7年度</td> <td>道路改良工事、台帳整備</td> <td>270 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費</p>							令和元年度～3年度	詳細設計、用地測量、用地補償	120 百万円	令和4年度～7年度	道路改良工事、台帳整備	270 百万円																																
令和元年度～3年度	詳細設計、用地測量、用地補償	120 百万円																																										
令和4年度～7年度	道路改良工事、台帳整備	270 百万円																																										
<p>(4) 事業位置図等</p>  <p>凡例 — 今回事業評価箇所</p>																																												

2. 添付資料シート

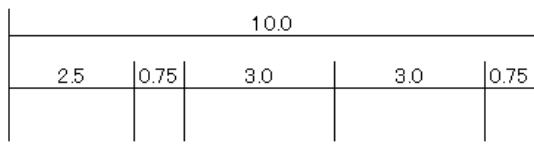


【標準横断図】

現道 横断図



バイパス 横断図



【写真①】



児童通学状況 (歩道無し)

【写真②】



自動車のすれ違いが困難な状況